

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	東松山市 社会福祉協議会	代表者		法人・ 事業所 の特徴	「共生型多機能センターあすみーる」内にあり、認知症対応型共同生活介護、地域活動支援センター、乳幼児一時預かりを併設しています。「わたしが・わたしでいることを支え合う」を事業の指針として、それぞれの事業が連携、協同しています。そしてそれは、地域の姿であり、生活者としての当たり前であることにつながればよいと考えています。
事業所名	小規模多機能 居宅介護あすみーる	管理者	島田修充		

出席者	運営推進会議委員（市職員、地域包括職員含む）	利用者	利用者家族	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	6人	人	人	人	21人	人	27人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	まず、利用者の「以前の暮らし方」を知る事が第一歩と考え、担当による情報収集から「利用者以前の暮らし方」ファイルを作成し、職員全員で情報共有を図った。今後も随時、更新していく。	「以前の暮らし方」の情報を各職員が把握することで、ご利用者のこれまでの生活を尊重し、安心して日常生活が行えるような関わりが出来た。	スタッフ全員で自己評価及び改善計画について取り組んでいるとの評価をいただいたが、より分かりやすい説明とまとめ方について意見をいただいた。	次年度も計画的に進め、お互いが理解しやすい言葉や表現に努め、評価を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境			概ね良い意見であった	
C. 事業所と地域のかかわり	「あすみーる通信」の配布先を工夫する。運営会議委員の方からも地域への配布のご協力をご相談させていただく。	運営推進会議委員へ配布の協力をいただいた。	広報誌の町内配布や相談しやすい場所としてのPR方法のアドバイスをいただいた。	広報誌により、地域の相談先であることのPRの継続を行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域のイベントやサロン活動への参加	
E. 運営推進会議を活かした取組み			地域の情報、民生委員、地域包括との連携、情報交換が行えた	ご利用者、家族の参加を促していく。また、地域の困りごとなどの情報を吸い上げ、ケース検討なども行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策			災害時における取組の評価	防災訓練等災害時マニュアルの周知や訓練への参加を通じ、地域の方との連携を深める。

